

中堅会は、町内諸行事への参加を通じて
明るく住みよい町づくりを目指して活動しています。

ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。
フィールさんの店内に、凧を展示しました。

店長さん、ありがとうございました。
来年もよろしく願いいたします。



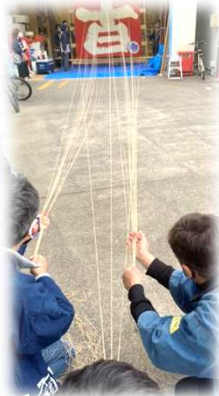
コロナ禍の中、役員一同 検温はもちろんのこと
十分な感染予防対策を取りながら活動してきました。

凧管理の皆さん、厳しい状況の中
凧の準備等々、本当にご苦労様でした。



糸目付～

東組長！
カッコいい！



令和3年 浜松まつり

サプライズ手作り凧 早出町、会長次男入学祝【浜松まつり】

2021.5.4

中区早出町は、凧協会の有志が大野木一樹会長（49）の次男遼歩（たくほ）君（6）の初凧を大空に掲げた。遼歩君が生まれた頃に大野木さんは現場を仕切る組長に就き、「町のことに集中したい」とわが子の初子祝いを辞退し続けていた。有志が感謝の気持ちを込めたサプライズ企画として、手作りの大凧を贈った。



手作りの凧を見つめる大野木会長（手前から2人目）と次男の遼歩君（同3人目）ら

長男彰歩君（9）の時は初凧を掲げて盛大にお祝いしたという大野木さんだが、遼歩君が生まれてから4年間は組長として町の凧揚げを優先してきた。遼歩君が成長したこともあり、凧を揚げる機会を失っていたという。

このことを気に掛けていた凧揚会后見役の川合数雄さん（71）が「（大野木さんに）分からないように初凧を作ろう」と提案。「やってあげなければと思っていた」と賛同した凧揚会取締役の栗田諭さん（66）を中心に、4月に入ってから有志8人ほどで5帖（じょう）凧を作り上げた。

制作途中で大野木さんに気づかれるハプニングもあったが、迎えたまつり初日、凧は有志の手によって空高く舞上がった。曳馬小に入学したばかりの遼歩君も糸を操り、「手が痛かったけど楽しかった」とうれしそう。大野木さんは「そんなに気にしてくれていたとは、本当に感謝したい」と笑顔を見せた。

現組長の東秀行さん（49）は「世代交代の難しい時期に、組長として尽力してくれた恩返し」と語った。

『静岡新聞』記事より～



遼歩くん！おめでとう！
よかったね！！



令和3年浜松まつり、皆様のご理解とご協力のおかげで無事終わることができました。ありがとうございました。

三日間とも凧はよく揚がり、初凧揚げもできました。心配や不安もありましたが、結果は大成功でした。

来年に繋がるいろんな意味で、よいまつりになったと思います。

令和3年早出連組長 東秀行

中堅会に興味のある方は気軽にお問合せ下さい。事務局 東秀行 ☎ 090-8542-6116